コーチ制度に関するご提案

宮田優

注：これは、宮田が独断で書かせていただいています。正直のところ、来年の自分の負担を減らしたいというやましい気持ちがあることは否定しませんが、長期的に部の事を考えると、このあたりで一度話題にしていただきたいと思ったので、このような形で文章にしてまいりました。どうか、「なんか若造が言っている」位の気持ちで読んで頂ければ幸いです。長いあいだ先輩方が身を削り、行ってきてくださったこの制度を僕なんぞが「きついから変えよう」などというのは大変恐縮ですし、身の程知らずだと存じますが、目を通すだけでも、どうかよろしくお願いします。もし現状のまま来年もということになっても、手を抜くつもりはありませんので、どうか宮田の勝手をお許し下さい。

　お世話になっております。この度、来年度、部を運営していくにあたって、今まであまり公に問題にはなってこなかったものの、毎年課題となる「コーチ制度」に対して、私なりに考えたことがありますので、ご提案させていただきます。

＜現状分析＞

**私は現状コーチ制度には、主に３つの問題点があるのではないかと考えます。まず「大学生にとって週３日、戸田公園に拘束されるのは大きな負担である」こと、次に「一部の人間に負担が集中している」ということ、そして「負担の大きいボランティアであるがゆえ、モチベーションが上がらず、コーチになってもらえない場合がある」ということです。**

大学に入った以上、授業はちゃんと行きたいですし、私は個人的に今資格を目指してダブルスクールをしていますが、将来のために何かしたいとも考えます。大学内での人間関係構築のためにサークル活動に勤しむ時間も欲しいですし、バイトをする時間だって欲しいです。これはおそらく誰もが考えることだと思いますが、週三日３時間から４時間コーチに行くとなると、難しいです。また、ボランティアであるため、やる人とやらない人が確実に出てきます。コーチ負担が大きく、せっかく大学に入ったのにそれを楽しめないのは嫌だと思う人が増えれば、ますます一部への負担が大きくなります。そうすれば、現に来ているコーチのモチベーションも落ちていきます。一種の悪循環が起きているのではないでしょうか。

＜新制度の提案＞

　そこで私が提案するのは**「コーチ週２日制度（一部期間を除く）」**です。今年、僕は授業の関係で週に２回しか行くことができませんでした。そのため、そこまで負担が大きくなく、参加することができました。週二回ならいってもいいという人は実際少なくないはずです。この制度が導入できれば、負担も減り、コーチの人数も多少増加するのではないでしょうか。また、毎回の練習におけるコーチングの質も、上がってくるのではないかと考えます。

＜具体的な内容＞

現状、**毎年、新たにコーチとして入ってくる人数は２～３人です。これが週２になれば、負担が減り、「やってもいい」と考える人が増え、「安定して３人」になるのではないかと私は考えます。そのように仮定した上で、１年目、２年目１人ずつを３グループ作り、１グループにつき週２回コーチに来ることにします。つまり、毎回４人のコーチが戸田に来る体制です。**２人いる２年目のコーチが主体となり、部活を運営していきます。

現在、筑波大学附属高校の端艇部には正規のコーチとして５人が戸田に通っています。しかし、先ほど述べたように私は週に２回しか行くことができませんでしたし、人によっては月に数回しかこないこともあります。コーチの人数は一日に平均３人というのが現状です。一方この制度では、各人が「こないといけない日」が決まるために自覚を持って週に２回、４人が集まれるのではないかと考えます。現在、コーチ内でも負担が一部に（今年の場合は石川さんが僕たちのいたらない分をすばらしくカバーしてくださいましたが）集中してしまう自体も起こっています。この制度ならば、少なくとも２年目の３人が同程度の負担改善されるのではないかとも考えています。また、コーチの人数が増えれば当然練習効率もあがりますし、万が一欠員が出ても、代わりに呼べる人材がいるという点でも優れていると考えます。

しかし、**これでは、毎回見るコーチが変わるために、練習効率が落ちるのではないかという不安が残ります。その点に関しても、問題ないと考えます。この制度は、１年間ずっと行うわけではなく、秋の大会（選抜）と春の対校レースという、我が部の主な目標である２レースの準備期間の約1.5ヶ月間を除いて行う予定です。**つまりクルーを固定してレースに臨む時は全員がコーチとして週３回参加することで、同じ人が同じ船を見ることができるようにします。また、今年度の傾向から、この期間を除くとクルーを頻繁に変えて、長い距離をこぐというのが主流の練習となってくるので、同じ人が同じ船を見る必要はなくなるかと考えます。

**加えて、週１回、２０分程度のコーチミーティングを、電話で行います。一週間のメニューの様子や特に気になった選手のことについて報告しあい、加えて次週のメニューの設定を行います。**これにより自分のいなかった回の状況を把握できますので、低レートで長距離をとにかく漕いで、基本的な漕ぎの技術と体力をつける時期には十分であると考えます。また、この会議にはマネージャーも参加し、議事録をとってもらいます。過去の練習の状況も振り返れますし、マネージャーが部の状況を把握することにもつながります。

＜まとめ＞

**・毎回の練習に新旧2人1グループのコーチが、2グループ来る。（毎回計４人）**

**・秋と春の、長期間固定クルーでこぐ時期はこの制度を行わない。**

**・週１回２０分のミーティングで各人が部の現状を把握する。**

**このようにすることで**

**・コーチの人数が増え、一人あたりの負担が減る。**

**・週２回なら生活をそこまで圧迫しないためコーチのモチベーションが上がる。**

**・練習メニューも今までと同じかそれ以上のレベルで管理できる。**

いかがでしょうか。実際にやってみないと本当に効果があるのかはわからないですが少なくとも私は「試す価値はある」と思っています。

　附属端艇部の後輩たちが今後良い環境で部活に取り組み、引退後も、積極的に部に関わっていくことができるように、ご意見の方をお聞かせください。

　以上、長々と失礼いたしました。今後も応援よろしくお願い致します。